



平成26年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年10月28日

上場会社名 エムスリー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2413 URL <http://corporate.m3.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 谷村 格 (TEL) 03-6229-8900
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 辻 高宏 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	16,750	47.2	5,624	30.4	6,031	35.6	3,526	34.6
25年3月期第2四半期	11,378	33.5	4,312	23.6	4,448	27.7	2,619	29.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4,261百万円 (51.9%) 25年3月期第2四半期 2,804百万円 (46.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2,218.29	2,207.43
25年3月期第2四半期	1,649.50	1,640.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	33,111	25,616	73.7
25年3月期	30,853	23,472	72.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 24,410百万円 25年3月期 22,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無
 2 現時点において、平成26年3月期の配当予想額は未定です。今後の資金需要動向とキャッシュ・フローの状況とを勘案し、株主配当の水準を決定する予定です。
 3 平成25年3月期の期末配当金の内訳: 普通配当1,000円00銭、記念配当200円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	34,000	30.7	11,400	22.7	11,400	18.4	6,900	23.2	4,340.89

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無
 2 1株当たり予想当期純利益については、平成26年3月期第2四半期中平均株式数1,589,535株に基づいて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	1,589,958株	25年3月期	1,588,926株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	一株	25年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	1,589,535株	25年3月期2Q	1,587,810株

(注) 平成24年10月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っています。上記の株式数は、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算出しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、平成25年10月28日(月)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	12
(四半期連結損益計算書関係)	12
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	12
(株主資本等関係)	12
(1株当たり情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

医療従事者専門サイト「m3.com」の医師会員は約25万人となっており、「m3.com」を中心に様々なサービスの展開をしています。

既存サービスについては、顧客への各サービスの一層の浸透により、順調に推移しました。製薬会社向けのマーケティング支援サービスは、国内主要製薬会社のほぼ全社が既にご利用されている基本的な「提携企業」サービス、「m3.com」のプラットフォーム上で会員医師が主体的、継続的に高頻度で情報を受け取れる「MR君」サービス、会員医師に対してメールで直接アプローチする「m3MT」サービスと、意図や用途により選べるサービスメニューを提供しています。

また、治験に参加する施設・対象患者を発見する治験支援サービス「治験君」を核に、ITを活用した大規模臨床研究支援サービスを提供するメビックス株式会社（以下「メビックス」という）、首都圏を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社メディカル・パイロット、近畿、中国地方を中心に治験実施医療機関において治験業務全般の管理・運営を支援する株式会社フジ・シー・アール・エス（以下「フジ・シー・アール・エス」という）、治験業務の支援を行う株式会社MICメディカル（以下「MICメディカル」という）を通じて治験支援関連サービスを提供しています。

さらに、会員医療従事者を対象とした調査サービス、会員へ医療情報以外のライフサポート情報を提供する「QOL君」等の一般企業向けマーケティング支援サービス、一般の方々からの健康や疾病に関する質問に「m3.com」登録医師が回答する「AskDoctors」（<http://www.AskDoctors.jp/>）、診療所の経営をサポートする「m3.com 開業・経営」等の新規サービスの拡充も進めています。

医師、薬剤師向けの求人求職支援サービスを提供するエムスリーキャリア株式会社（以下「エムスリーキャリア」という）、クリニックの診療予約サービスを提供するアイチケット株式会社（以下「アイチケット」という）、医療用医薬品に関する広告代理店であるリノ・メディカル株式会社（以下「リノ・メディカル」という）、電子カルテ等の開発・販売・サポートを手掛ける株式会社シィ・エム・エス（以下「シィ・エム・エス」という）においてもサービス展開を進めています。

海外においては、米国で、20万人以上の医師会員を擁する医療従事者向けウェブサイト「MDLinx」を運営し、この会員基盤を活かした製薬会社向けサービスの展開が順調に進んでいます。また、英国では約20万人の医師会員を擁する医師向けウェブサイト「Doctors.net.uk」を運営するDoctors.net.uk Limited（以下「DNUK」という）において、製薬会社向けサービスの展開を進めています。さらに、日本、米国、欧州、中国及び韓国に跨る100万人超の医師パネルを構築し、医療分野においてグローバルな調査サービスを提供しています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりです。

（当期の業績）

（単位：百万円）

	平成25年3月期 第2四半期累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	平成26年3月期 第2四半期累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	比較増減		（参考） 前連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
売上高	11,378	16,750	+5,372	+47.2%	26,007
営業利益	4,312	5,624	+1,311	+30.4%	9,294
経常利益	4,448	6,031	+1,583	+35.6%	9,625
四半期(当期)純利益	2,619	3,526	+906	+34.6%	5,598

(セグメントの業績)

(単位: 百万円)

		平成25年3月期 第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	平成26年3月期 第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	比較増減	
医療 ポータル	セグメント売上高	7,730	9,179	+1,448	+18.7%
	セグメント利益	4,342	5,003	+660	+15.2%
エビデンス ソリューション	セグメント売上高	1,626	3,239	+1,613	+99.2%
	セグメント利益	226	581	+355	+156.9%
海外	セグメント売上高	1,788	2,785	+997	+55.8%
	セグメント利益	12	438	+425	+3,301.4%
診療プラット フォーム	セグメント売上高	—	1,335	+1,335	—
	セグメント利益	—	140	+140	—
その他	セグメント売上高	374	470	+96	+25.7%
	セグメント利益	23	52	+29	+126.5%
消去又は全社	セグメント売上高	(141)	(260)	—	—
	セグメント利益	(157)	(184)	—	—
合計	売上高	11,378	16,750	+5,372	+47.2%
	経常利益	4,448	6,031	+1,583	+35.6%

①医療ポータル

医療関連会社マーケティング支援分野の売上高は、4,687百万円(前年同期比4.0%増)となりました。「MR君」サービスの売上高は、一部の製品で配信が遅れる等の要因があったものの、その他は堅調に推移し、前年同期比5%増となりました。第3四半期以降は製薬会社の利用拡大が加速し、通期では当初計画通りの伸びとなる見込みです。

調査分野の売上高は952百万円(前年同期比48.0%増)となり、順調に推移しました。受託調査、企画調査ともに拡大しました。

その他分野の売上高は、3,539百万円(前年同期比37.1%増)となりました。エムスリーキャリアにおける医師、薬剤師向け人材紹介事業及びAskDoctors等のコンシューマ向けサービスが拡大しました。

これらの結果、医療ポータルセグメントの売上高は、9,179百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費の総額は、エムスリーグループ業務拡大に伴う人件費増加等の要因を中心に、4,192百万円(前年同期比24.0%増)となりました。

以上の結果、医療ポータルのセグメント利益は5,003百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

②エビデンスソリューション

前連結会計年度より新たに連結子会社となったMICメディカルの業績が好調だったことに加え、メビックス、フジ・シー・アール・エス等の業績が順調に推移したことから、売上高は3,239百万円(前年同期比99.2%増)、セグメント利益は581百万円(前年同期比156.9%増)となりました。

③海外

M3 USA CorporationにM3 Global Research Limited及びDNUKを加えた米英においては、調査サービスと製薬会社向けマーケティング支援サービスの拡大等に加え、為替変動のプラスの影響(538百万円)により、売上高は2,728百万円(前年同期比56.1%増)となり、利益は業務の拡大に伴う利益率の改善と経営の効率化を推進してきたことから増益となりました。韓国を含めた海外セグメントの売上高は2,785百万円(前年同期比55.8%増)、セグメント利益は438百万円(前年同期比3,301.4%増)となりました。

④診療プラットフォーム

シィ・エム・エスの事業が順調に推移し、売上高は1,335百万円、セグメント利益は140百万円となりました。

⑤その他

アイチケット、リノ・メディカル等のグループ会社各社の業績が順調に推移したこと及び持分法投資損益の増加等により、売上高は470百万円(前年同期比25.7%増)、セグメント利益は52百万円(前年同期比126.5%増)となりました。

さらに、営業外収益として、為替差益199百万円、投資有価証券売却益100百万円を計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は16,750百万円（前年同期比47.2%増）、営業利益は5,624百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益は6,031百万円（前年同期比35.6%増）、四半期純利益は3,526百万円（前年同期比34.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

資産合計は、前連結会計年度末比2,258百万円増の33,111百万円となりました。現金及び預金が1,130百万円増加したこと及び業容拡大に伴い受取手形及び売掛金が936百万円増加したことを主な要因に、流動資産は前連結会計年度末比1,759百万円増の21,088百万円となりました。また、投資有価証券の株式時価評価等により投資有価証券が195百万円増加したことを主な要因に、固定資産は498百万円増の12,023百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比114百万円増の7,494百万円となりました。業容拡大によりポイント引当金が166百万円増加した一方、未払法人税等が218百万円減少したこと等により、流動負債は68百万円減の6,431百万円となりました。また、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が132百万円増加したこと等により、固定負債は182百万円増の1,063百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比2,144百万円増の25,616百万円となりました。剰余金配当1,906百万円を行った一方、四半期純利益3,526百万円を計上したことにより利益剰余金が1,618百万円増加したこと、為替換算調整勘定が366百万円増加したことが主な要因です。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より910百万円増加し、12,624百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,267百万円の収入（前年同期比816百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益6,015百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額2,325百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、拘束性預金の預入による支出316百万円等により、415百万円の支出（前年同期比2,682百万円の支出減）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により、2,065百万円の支出（前年同期比775百万円の支出増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの当期業績については、増収増益となることを見込んでいます。

①医療ポータルセグメント

医療関連会社マーケティング支援分野については、引き続き「MR君」を中心とした継続的なサービスの拡大を見込んでいます。

調査分野は、製薬会社を中心とした着実な需要を背景に、調査サービスが堅調に推移すると見込んでいます。

その他分野においては、エムスリーキャリア及び「治験君」の成長を中心に、各サービスの拡大を見込んでいます。

費用については、一層の成長に向けた積極的な人員増等を計画していますが、既存サービスに直接関連する費用に関しては構造的な変化は見込んでいません。

以上の結果、医療ポータルセグメントは、増収増益を見込んでいます。

②エビデンスソリューションセグメント

エビデンスソリューションセグメントについては、各社とも事業が順調に推移することを見込んでいる他、新たに連結子会社となったMICメディカルの連結対象月数の増加と構造改革の進展により、増収増益を見込んでいます。

③海外セグメント

海外セグメントについては、米英両国において、製薬会社向けマーケティング支援サービスと調査サービスが拡大することにより、増収増益を見込んでいます。中国においては、40万人以上の医師が利用する医師向けウェブサイト「医脈通」を運営する北京金葉天盛科技有限公司と合併事業を開始するための基本契約を締結しましたが、事業開始前のため現時点の業績見通しには含めておりません。

④診療プラットフォームセグメント

新たに連結子会社となったシィ・エム・エスの連結対象月数の増加と事業構造改革の進展により、増収増益を見込んでいます。

⑤その他セグメント

その他セグメントについては、アイチケット等のグループ会社各社のサービス拡大等により、増収増益を見込んでいます。

これらを踏まえ、平成26年3月期の業績見通しを、以下のとおりとしております。

(単位：百万円)

	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 業績予想	差異
売上高	26,007	34,000	+7,992
営業利益	9,294	11,400	+2,105
経常利益	9,625	11,400	+1,774
当期純利益	5,598	6,900	+1,301

※ 上記業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,287,314	13,417,831
受取手形及び売掛金	5,222,748	6,158,983
商品及び製品	67,242	80,817
仕掛品	71,643	78,781
その他	1,724,207	1,384,602
貸倒引当金	△44,741	△32,805
流動資産合計	19,328,414	21,088,211
固定資産		
有形固定資産	400,942	493,188
無形固定資産		
のれん	5,490,182	5,556,478
その他	1,067,019	1,175,063
無形固定資産合計	6,557,202	6,731,541
投資その他の資産		
投資有価証券	3,774,584	3,970,080
その他	933,803	828,453
貸倒引当金	△141,827	—
投資その他の資産合計	4,566,560	4,798,533
固定資産合計	11,524,706	12,023,263
資産合計	30,853,120	33,111,474
負債の部		
流動負債		
買掛金	628,646	519,193
未払法人税等	2,210,398	1,992,022
ポイント引当金	1,006,518	1,173,144
賞与引当金	329,332	435,175
その他の引当金	94,259	181,713
その他	2,230,910	2,130,206
流動負債合計	6,500,066	6,431,456
固定負債		
退職給付引当金	46,590	51,291
繰延税金負債	384,246	516,625
その他	449,595	495,273
固定負債合計	880,432	1,063,189
負債合計	7,380,498	7,494,646

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,808	1,385,088
資本剰余金	1,564,200	1,613,479
利益剰余金	18,080,016	19,698,648
株主資本合計	20,980,025	22,697,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	862,100	942,345
為替換算調整勘定	404,817	771,202
その他の包括利益累計額合計	1,266,917	1,713,547
新株予約権	142,090	132,911
少数株主持分	1,083,588	1,073,152
純資産合計	23,472,621	25,616,827
負債純資産合計	30,853,120	33,111,474

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	11,378,109	16,750,739
売上原価	2,930,615	5,177,053
売上総利益	8,447,494	11,573,686
販売費及び一般管理費	※1 4,135,087	※1 5,949,483
営業利益	4,312,407	5,624,202
営業外収益		
為替差益	—	199,713
持分法による投資利益	7,086	90,128
投資有価証券売却益	114,443	100,110
その他	39,499	59,999
営業外収益合計	161,028	449,950
営業外費用		
為替差損	17,229	—
貸倒引当金繰入額	—	10,233
事務所移転費用	—	26,651
その他	7,855	5,336
営業外費用合計	25,085	42,221
経常利益	4,448,350	6,031,932
特別利益		
負ののれん発生益	—	39
新株予約権戻入益	—	11,419
特別利益合計	—	11,458
特別損失		
持分変動損失	2,250	7,579
投資有価証券評価損	15,228	5,091
減損損失	—	11,179
事業構造改善費用	—	4,016
特別損失合計	17,478	27,866
税金等調整前四半期純利益	4,430,872	6,015,524
法人税、住民税及び事業税	1,742,747	2,104,380
法人税等調整額	△72,664	114,520
法人税等合計	1,670,083	2,218,901
少数株主損益調整前四半期純利益	2,760,789	3,796,622
少数株主利益	141,688	270,579
四半期純利益	2,619,100	3,526,042

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,760,789	3,796,622
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	186,886	80,236
為替換算調整勘定	△141,085	377,448
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,793	7,470
その他の包括利益合計	44,007	465,155
四半期包括利益	2,804,796	4,261,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,670,652	3,972,672
少数株主に係る四半期包括利益	134,143	289,105

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,430,872	6,015,524
減価償却費	83,903	159,721
減損損失	—	11,179
のれん償却額	192,420	236,247
投資有価証券評価損益(△は益)	15,228	5,091
投資有価証券売却損益(△は益)	△114,443	△100,110
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16,134	6,241
ポイント引当金の増減額(△は減少)	147,034	163,187
賞与引当金の増減額(△は減少)	62,905	104,564
その他の引当金の増減額(△は減少)	△2,173	90,604
受取利息及び受取配当金	△17,905	△18,217
為替差損益(△は益)	17,229	△199,713
持分法による投資損益(△は益)	△7,086	△90,128
売上債権の増減額(△は増加)	△153,828	△876,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,981	176,761
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△152,164	117,340
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,096	△125,804
未払費用の増減額(△は減少)	△57,732	23,190
前受金の増減額(△は減少)	△76,618	△111,280
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△20,414	△99,268
その他	37,942	59,811
小計	4,327,919	5,548,071
利息及び配当金の受取額	34,784	47,812
利息の支払額	△752	△2,476
法人税等の支払額	△1,910,746	△2,325,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,451,206	3,267,661
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16,404	△10,038
定期預金の払戻による収入	50,000	151,075
拘束性預金の預入による支出	—	△316,903
拘束性預金の払戻による収入	95,972	—
有形固定資産の取得による支出	△41,597	△150,823
無形固定資産の取得による支出	△43,442	△139,043
敷金及び保証金の差入による支出	△2,609	△51,522
投資有価証券の取得による支出	△1,248,873	△23,727
投資有価証券の売却による収入	148,443	107,610
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,042,306	—
その他	2,760	17,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,098,057	△415,489
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	62,462	76,837
配当金の支払額	△1,319,280	△1,904,910
少数株主への配当金の支払額	△63,179	△237,579
その他	30,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,289,997	△2,065,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,649	124,175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,918,199	910,694
現金及び現金同等物の期首残高	9,672,040	11,713,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 7,753,840	※1 12,624,285

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医療 ポータル	エビデンス ソリューション	海外	診療プラッ トフォーム	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,594,344	1,621,867	1,788,186	—	11,004,398	373,711	11,378,109
セグメント間の内部 売上高または振替高	136,550	4,220	—	—	140,770	657	141,427
計	7,730,894	1,626,087	1,788,186	—	11,145,168	374,368	11,519,536
セグメント利益	4,342,932	226,471	12,884	—	4,582,288	23,132	4,605,420

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、新たに株式会社メディサイエンスプランニングの株式を取得し、持分法適用の範囲に含めています。また、当第2四半期連結会計期間において、新たに株式会社MICメディカルの株式を取得し、連結の範囲に含めています。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、エビデンスソリューションセグメントにおいて、4,138,742千円増加しています。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（単位：千円）
報告セグメント計	4,582,288
「その他」の区分の利益	23,132
セグメント間取引消去	△930
全社費用（注）	△156,139
四半期連結損益計算書の経常利益	4,448,350

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの管理及び投資活動にかかる費用です。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

エビデンスソリューションセグメントにおいて、新たに株式会社MICメディカルの株式を取得し連結の範囲に含めたことから、当第2四半期連結累計期間においてのれんが1,001,476千円増加しています。

5 報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社では定率法を採用する一方、一部の海外連結子会社では定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び主要な国内連結子会社においては定額法に変更しております。

これは、今後更なるグローバルな事業展開が加速し海外における有形固定資産の増加が見込まれること、また、当社及び主要な国内連結子会社の有形固定資産の保有状況を見直した結果、耐用年数内で安定的に使用される資産が大部分を占めていることから、グループの会計方針の統一と期間損益の適正化の観点から変更するものです。

この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医療 ポータル	エビデンス ソリューション	海外	診療プラッ トフォーム	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,939,477	3,235,805	2,774,823	1,335,924	16,286,031	464,708	16,750,739
セグメント間の内部 売上高または振替高	239,653	3,889	10,791	—	254,333	5,893	260,227
計	9,179,130	3,239,694	2,785,615	1,335,924	16,540,365	470,601	17,010,966
セグメント利益	5,003,361	581,815	438,267	140,422	6,163,867	52,399	6,216,267

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機関向け各種情報提供サービス事業及び医療用医薬品に関する広告代理店事業等を含んでいます。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（単位：千円）
報告セグメント計	6,163,867
「その他」の区分の利益	52,399
セグメント間取引消去	△18,560
全社費用（注）	△165,774
四半期連結損益計算書の経常利益	6,031,932

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社グループの管理及び投資活動にかかる費用です。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、新たに株式会社シィ・エム・エスの株式を取得したことに伴い、報告セグメントを従来の「医療ポータル」、「エビデンスソリューション」及び「海外」の3区分から、「医療ポータル」、「エビデンスソリューション」、「海外」及び「診療プラットフォーム」の4区分に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、健康サポート株式会社については、重要性が増したことから、連結の範囲に含めています。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

持分法適用関連会社でありましたMedQuarter AGについては、当第2四半期連結会計期間において会社清算が終了したことから、持分法適用の範囲から除外しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
	(千円)	(千円)
報酬・給与	1,252,583	1,929,107
販売促進費	647,957	749,118
賞与引当金繰入額	154,634	266,002
ポイント引当金繰入額	123,044	161,714

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
	(千円)	(千円)
現金及び預金勘定	8,362,314	13,417,831
預入期間3ヶ月超の定期預金	△591,942	△439,416
拘束性預金	△16,531	△354,129
現金及び現金同等物	7,753,840	12,624,285

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月26日 取締役会	普通株式	1,321,570	2,500	平成24年3月31日	平成24年6月11日	利益剰余金

(注) 平成23年10月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月24日 定時株主総会	普通株式	1,906,711	1,200	平成25年3月31日	平成25年6月25日	利益剰余金

(注) 平成24年10月1日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	1,649.50円	2,218.29円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	2,619,100	3,526,042
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	2,619,100	3,526,042
普通株式の期中平均株式数(株)	1,587,810	1,589,535
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,640.89円	2,207.43円
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	8,335	7,817
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当社は、平成24年10月1日付で株式1株につき3株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。